

おおぞみ



広報 No.190

KOHO OGIMI 2011年 1月号



大宜味

「健康長寿の
いきいき輝く
文化の村」



卯年 生まれの村内小学生

場所:津波小学校

撮影:久高将和(サン・フォートス)

迎春



「健康長寿のいきいき輝く文化の村」

に向かって共に歩もう

新年明けましておめでとうござい
ます。

輝かしい新春を迎えるにあたり、村
民の皆様にとつて健康で明るく希望に
満ちた年でありますようお祈り申し上
げますとともに、日頃から村政全般に
対する温かいご理解とご支援に対し心
から感謝申し上げます。

昨年は4月の大宜味ブロードバンドの
共用開始、10月の第1回大保ダムまつり
の開催、結の浜ではインフラ整備が着々
と進められ、公共施設も大宜味浄化セ
ンター、村立診療所、結橋、村営結の浜団
地が着工され、共用開始を待つばかりと
なり、新たな村の観光・福祉・産業振興ま
た定住化に資する事業が動きだしまし
た。

8月に「晴天届く君の風 みなぎる
闘志が夏に輝く」の大会テーマの下開催
されました美ら島沖繩総体ボート競技
では、村民の多大なるご理解とご協力を
賜り、塩屋湾で全国の高校生が清々しい
姿で競技に取り組み、大会が無事成功
し終えることができましたことに、あら
ためて深く感謝を申し上げます。

文化スポーツ面におきましては、全
国レベルでの優勝等、大宜味村の青年
の堂々たる活躍が、村に活気を与えてく
れました。

迎えた年は、将来の村の中核地区を
担う「結の浜」では、宅地分譲の開始、全
島緑化県民運動第62回沖繩県植樹祭
が予定されており、大きく動き出す年
になります。特産品のシークワサー

も、これまで以上に県内外で「大宜味ブ
ランド」のPR活動を展開して参りま
す。10月には「第5回世界のウチナン
チュ大会」が開催されます。遠く離れて
暮らす親族友人らとの5年ぶりの再開
を、村でも歓迎交流会を催しお迎えい
たします。

さて、昨年9月の村長選挙において村
民の熱いご声援と激励を受け当選させ
て頂き、3期目の村政運営を任せられ遂
行しております。この選挙結果を重く
受け止めると共に、あらためてその責任
の重さを痛感しております。本年も「健
康長寿のいきいき輝く文化の村」を基本
構想に、豊かで住みよい村づくり、健康ユ
イマールの村づくり、心豊かな文化の薫
り高い村づくり、安心、安全な村づくり
の4本の柱の実現に向けて、村民の期待
や声に充分に応え、諸施策を展開してい
く決意であります。

厳しい財政事情の中、職員一同、心を
一つにして本村の発展と村民の皆様の
幸せのため最大限の努力をしていく所
存でございます。本年も、どうぞよろし
くお願い致します。

結びに、村民の皆様方のご健勝とご多
幸を心からお祈り申し上げ、新年のあ
いさつといたします。
共に歩もう2011年！

平成二十三年一月一日

大宜味村長 島袋 義久



大宜味村議会議員長
金城 勇

新年あけましておめでとうございます。

村民の皆様には平成23年の輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、県内外で基地問題に揺れ動いた年でした。先行き不透明な政治や社会情勢ではありましたが、本村におきましては、美ら島沖繩総体のポर्ट競技が、塩屋湾を会場に開催され、辺土名高校の活躍に、地元応援団が大興奮しました。また、青年会、婦人会をはじめとする、村民の心温まる歓迎を受けて、県外の選手や関係者は大変感動しておりました。

さて、昨年9月には、村議会議員選挙があり、厳しい選挙を勝ち抜いた10名が決まりました。私は改選後初の臨時会におきまして、議員の各位のご推挙により、はからずも議長に選任されました。議会の役割は、予算案などの議決のみではなく、行政への

けん制や、監視、政策を提案しながらも、同時に議員自らが条例案を立案するなど、村民の皆様の声を行政に反映させなければなりません。村民の代表である村議会といたしましては、執行機関と互いに切磋琢磨しながら、むらづくりの主人公は村民の皆様であることを第一に住んでよかつたと思えるようなむらづくりの実現に向けて、鋭意努力してまいります。村民の期待にこたえてまいります。村民の皆様への負託に応え、村勢発展のため、議決機関の使命に全力を尽くす所存であります。本村においては、シークワーサーを中心とした、地場産業の振興に寄せる期待は大きなものがあります。住民福祉サービスの向上においても、一段の努力を傾注し、高度情報化・国際化・少子高齢化・環境問題等、複雑多様化する社会に対応し、大宜味村の抱える問題を課題を解決するために、議会としても全力を尽くす所存でありますので、村民の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、この一年が皆様にとって実りの多い年でありますよう、祈念いたします。新年のごあいさついたします。



大宜味村農業委員会 会長
米須 章

新年明けましておめでとうございます。

村民の皆様には輝かしい年を迎え心からお慶び申し上げます。

昨年は農家皆様の協力を得まして活動に結びつけることができました。農業委員を代表して感謝申し上げます。

昨年、前会長の照屋紀男委員が病に伏し、その後を私が会長の責務を引継ぐ事になりました。変わらぬご指導下さいますようお願い致します。

さて、近年、農業者を取り巻く環境を顧みますと、異常気象による農作物被害や、台風等自然災害、TPP（輸入関税撤廃）等農家に押し寄せる波は多大なものがあり苦しい状況になつていようと思えます。

世界人口の増加と食糧問題など国連で大きな課題となる中、「自国民の食料は自国民の農業で支える」と位置づけ、農業施策は「食料、農村、農村基本計画」が閣議決定されました。

新たな基本計画におきましては、農業者の代表である農業委員が、公平公正かつ適正に地域の農業を管理し、農地の有効利用を図っていくことが強く求められています。

農地パトロールや農家相談活動を中心に遊休農地の発生防止や、放棄地の解消を図り優良農地の確保は大宜味村にとっても重要な課題です。

平成20年度に、大宜味村耕作放棄地対策協議会が立ち上がり、遊休化した農地を解消し、新規作物の日本蕎麦の試験栽培をはじめしております。

県内の他の地域でも蕎麦栽培は行われておりますが、大宜味村においては、生産製粉、加工まで一連の流れとして産地直売を目標にしております。日本一早出しの日本蕎麦として付加価値を付けることにより地域の活性化、ひいては農家所得の向上に結びつけるものだと思います。今後の協議会の活動に期待いたします。

また、農家の将来の生活安定のため、農家にも得点として、サラリーマンの厚生年金と同じく、農業者年金があります。積み立て方式の年金なので安心して若い農業者が加入する事ができ将来設計が図れるものと思えます。

最後に、今年度は農業委員の選挙の年です。今後の大宜味村の農業基盤をしっかりと築くものだと思います。10a以上耕作している農家が対象です。是非権利取得し大宜味村の農業を共に考えていきたいものです。

農業を取り巻く環境は世界的にも国内的にも一層厳しいものになるかと思えます。私たち大宜味村の農業委員も微力ながら農家の皆様と共に頑張りたいと思っておりますので今後ご指導宜しくお願い致します。

本年も皆様にとって良い年でありますよう心からお祈り致します。



2010

大宜味村10大ニュース

2010年は、50年に一度の大イベントである「美ら島沖繩総体2010」ボート競技大会が、塩屋湾特設ポート場において開催され、大宜味・国頭・東の三村融和のもと、地域をあげて取り組み、やるばるの良さを全国に発信、数々のドラマを残し、成功裏に幕を閉じました。

他にも、第1回大保ダムまつり、大宜味村社会福祉協議会法人化20周年津波小学校創立100周年と、様々なイベントや記念式典も開催され、大宜味村にとって歴史に残る1年となりました。

村民の念願であった無線高速インターネット(フロードバンド)サービスの利用が、村内のほぼ全域を対象に4月1日から開始され、村内小中学校のインターネット授業の向上、防災監視カメラを利用した災害の未然の防止など、あらゆる所に波及効果が現れています。また、大宜味村と琉球ジャスコ、村赤土大根生産組合で、生産販売奨励協定を締結したことで、今後村の農政にとって大きな期待の持てる一歩となりました。

スポーツ面では、大宜味中学校2年生の山川華蓮さん(津波)が、はまなす杯第4回全国中学生空手道選抜大会の女子1年形の部門で優勝、平良長真さん(謝名城)が、おきなわマラソンで初優勝を飾るなど、素晴らしい成績を残しました。

また、文化面では、辺土名高校放送部の野里朱美礼さん(謝名城)が、NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門準優勝、全国高校総体文化祭放送部門で優秀賞を収め、多方面において、青少年の才能に花が開き、これまでの努力が実を結びました。

その他の産業・観光文化・教育・福祉事業も一歩一歩前進し、村としては特に大きな災害もなく、比較的安定した年でありました。

第1回大保ダムまつり



第1回大保ダムまつり(主催・大保ダムまつり実行委員会)が10月31日、大保ダム広場をメイン会場として開催され、村内外から約1000人の行楽客が詰め掛け、賑わいを見せました。

まつりでは、ステージ企画をはじめ、体験コーナー、グランドゴルフ大会と大人から子どもまで楽しめる企画が盛りだくさんで、記念すべき第1回目にふさわしい催しとなりました。

2010美ら島沖繩総体ボート競技大会



平成22年8月6日～10日、塩屋湾特設ポート場において「美ら島沖繩総体2010」ボート競技大会が開催され、選手監督約1,200名、役員・補助員延べ約2,100名、観覧者延べ約9,000名の参加で、50年に一度の大会を盛り上げました。

大宜味社会福祉協議会法人化20周年記念式典



大宜味村社会福祉協議会が社会福祉法人として発足して20周年を迎えました。これを記念して行われた、大宜味村社会福祉協議会法人化20周年記念式典、及び第1回大宜味村社会福祉大会には、大宜味村の社会福祉事業に貢献のあった個人や各種団体をはじめ、多くの関係者らが出席し、盛大に祝いました。

津波小学校100周年記念式典・祝賀会



大宜味村立津波小学校の創立100周年記念式典・祝賀会が11月7日、同校で開催され、在校生や卒業生、地域住民ら約300人が参加し、同校の100周年の節目を祝いました。

祝賀会では、児童による三味線の演奏やエイサーの演舞、関係者による余興が披露され、歴史の節目に花を添えました。

赤土大根で生産販売奨励協定



大宜味村と琉球ジャスコ(栗本建三社長)、村赤土大根生産組合(具志堅朝秀組合長)は11月8日、赤土大根(青首)の販売拡大や村としてのブランド化を目標に掲げ、生産販売奨励協定を締結しました。

島袋義久村長が再選で3期目スタート



9月12日、任期満了に伴う村長選挙は、島袋義久村長が3期目の当選を果たしました。

また、村議会議員選挙が任期満了に伴い同時に行われ、現職7人、新人3人、合計10人の議員が決まりました。

平良長真さん おきなわマラソン初優勝



写真 / 琉球新報社提供

平良長真さん(謝名城)が、3月7日に行われた2010おきなわマラソンにおいて、2時間28分57秒のタイムで、フルマラソンに出場した9,362人の頂点に輝きました。

今回の優勝は昨年12月に行われたNAHAマラソンに引き続きの快挙で、NAHAマラソンからおきなわマラソン続けての優勝は、期間が短いため調整が難しく、平良長真さんが史上初となります。

大宜味無線高速インターネットサービス開始



無線によるインターネット(ブロードバンド)サービスの利用が4月1日から村内全域を対象に開始されました。これにより情報通信格差が是正され、新たな産業・観光等の振興が図られます。

現在、ISDNやアナログ回線でインターネットをご利用の方は、無線への切替えを是非ご検討ください。

(写真は、大宜味中学校と村商工会での利用風景)

山川華蓮さん 全国空手大会で優勝



北海道北広島市で行われた、はまなす杯第4回全国中学生空手道選抜大会で、大宜味中学校2年の山川華蓮さん(津波)が、女子1年形の部で見事優勝を果たしました。山川さんは他にも、中体連空手道大会の女子個人形で地区大会、県大会ともに優勝、第6回九州中学校空手道大会の女子個人形で優勝するなど、数々の華々しい成績を残しました。

野里朱美礼さん 目標の舞台で快挙



辺土名高校3年の野里朱美礼さん(謝名城)が今夏、第57回NHK全国高校放送コンテストのアナウンス部門準優勝、第34回全国高校総合文化祭放送部門優秀賞と、2つの輝かしい成績を取めました。とりわけ、NHK全国高校放送コンテストは野里さんにとって憧れであり、目標としていた舞台。3年間の努力と思いが入った舞台で、準優勝という快挙を達成しました。

お知らせ

暮らしに役立つ
情報コーナー



20歳になったら忘れず 国民年金の加入手続きを



国民年金は、老後の所得保障だけでなく、病気やけがで重い障害が残ったときなどにも年金を支給し、思いがけない人生の「万が一」もサポートする公的年金制度です。

義務と権利

日本国内にお住まいの20歳から60歳になるまでのすべての方は、国民年金に加入して保険料を納付する義務があり、年金を受け取る権利があります。

申請の手続きなど詳しくは、**大宜味村役場住民福祉課(44-3003)までお問い合わせ下さい。**

1月は村・県民税4期分の 納付月です!

平成22年度徴収最後の納付月です。

○納付期限は1月31日(月)までとなっております。納め忘れないようにお願い致します。

○住民税(1・2・3期分)、固定資産税(1・2・3期分)、軽自動車税を、まだ納めていない方は早めに納めて下さい。

分納相談等は、随時受け付けておりますのでお早めにご相談下さい。

連絡先 財務課税務係 TEL 44-3002

カンキツグリーニング病の 恐ろしさについて...

村内で猛威をふるっているカンキツグリーニング病について詳しく紹介します。

カンキツグリーニング病は柑橘類に致命的な被害を与える病害です。感染するとまず葉に黄色い斑が生じ、枝とともに変形します。果実は成熟しても小さく、表面に緑色の斑が残り、苦い。進行すると徐々に衰弱して枝の先端から枯れていき最終的には枯死します。2008年現在では、感染した樹木を伐採除去する以外の有効な対抗策がなく、世界各地の柑橘類生産に深刻な影響を及ぼしています。

日本では1988年に西表島で初めて感染が確認され、以後、徳之島以南の南西諸島に感染が拡大しています。1990年代後半には、アジアで5300万本、アフリカで1000万本の果樹がカンキツグリーニング病に感染していたものと概算されています。

国はカンキツグリーニング病重要病害に指定し、1997年には沖縄県からカンキツ類の植物の県外への移動が規制されています。

村では県や国の協力のもとカンキツ類への深刻な感染拡大を防ぐためにカンキツグリーニング病の調査、検定、伐採に取り組んでいます。



カンキツグリーニング病の罹病樹(左)と健全樹(右)

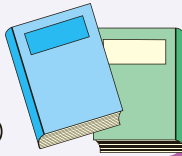
詳しい話はシークワサー振興室まで
(0980-144-3084)

村史編纂委員会が発足しました

去る11月11日に、次の7名の方に委嘱状が交付され、委員長に新城繁正氏、副委員長に前田國男氏を選任しました。任期は3年間です。

大宜味村史編纂委員

- 1、新城 繁正(元村長)
- 2、前田 國男(村文化財保護審議委員会委員)
- 3、平良 景昭(喜如嘉誌事務局)
- 4、前田 朝達(元教育委員)
- 5、新城 和治(元琉球大学教授)
- 6、中村 誠司(名桜大学教授)
- 7、平良 次子(南風原文化センター学芸員)



「農業委員・農業者との意見交換会」開催のお知らせ

日時:平成23年1月25日(火) 午後7時

場所:大宜味村役場第2会議室(旧法務局)

テーマ:①「大宜味村の耕作放棄地解消について」

②「大宜味村の農業者担い手育成について」

農家の高齢化、担い手の減少と村の直面している課題を踏まえ、政策要望や提案など自由な話し合いをすることとしております。是非ご出席下さい。

問い合わせ 大宜味村農業委員会

電話 44-3477 FAX 44-3999

あなたの区の民生委員・児童委員が決まりました

平成22年12月1日、民生委員・主任児童委員の一斉改正により、新任・再任がありましたので報告します。

任期:平成22年12月1日~平成25年11月30日

会長 山川清(喜如嘉担当)

副会長 崎山千代子(押川・大保担当)

副会長 島田哲夫(塩屋(兼久前・兼久後地区担当))

委員 山城薫(田嘉里担当)

委員 平良佳代子(謝名城担当)

委員 外園末美(饒波・大兼久担当)

委員 平良政代(大宜味・根路路・上原担当)

委員 宮城明美(塩屋(塩屋・大川地区担当))

委員 松本安子(屋古・田港担当)

委員 宮城広実(白浜・江洲・宮城担当)

委員 松本富士子(津波)

主任児童員 大山美佐子(喜如嘉・大宜味校区担当)

千住美和子(塩屋・津波校区担当)

← P8に関連記事及び写真掲載

**H23大宜味村青年会の
会員募集について**

村青年会では会員を募集していき
ます。一緒に大宜味村を盛り上げていき
ましょう!!

大宜味村青年団協議会 事務局
ツハコタツシ

TEL 0980-0144-3002

ご寄付

■村社会福祉協議会へ
宮城 美江子様 5万円
◎屋古区
夫 永昌さんの香典返しとして

大城 則子様 2万円
◎根路銘区
米寿を記念して

稲福 一夫様 3万円
◎喜如嘉区
父 吉雄さんの香典返しとして

■村育英会へ
大宜味村診療所長
内間 恭堅様 金一封
◎喜如嘉区
大宜味村子弟教育のため

村の人口		11月末現在
男	1,723人	(+4)
女	1,636人	(-4)
計	3,359人	(±0)
世帯数 1,638世帯 (-1)		
出生 3人	転入 8人	
死亡 4人	転出 8人	

※注()内数は対前月比

***村営結の浜団地*
新築に伴う入居者募集**

受付期間
平成22年12月15日(水)から
平成23年1月12日(水)まで
(土、日、祝日は除く)

受付時間
午前9時から午後5時まで
(土、日、祝日は除く)

入居者の人数、所得等に制限があります。
詳しい内容については、大宜味村役場
建設環境課(電話0980-44-3008)まで

満1歳お誕生日おめでとう!!
(タンカー祝い)

世界にたったひとつだけのスマイル!

とら
福地 飛楽くん (喜如嘉出身)

しずな
嘉陽 思珠那ちゃん (喜如嘉出身)

らな
大嶺 来那ちゃん (塩屋出身)

輝く未来の大宜味っ子! 明るく・元気で・素直にすくすく育てね

1月	January	February	大宜味村カレンダー
1 土	元日	22 土	◆わんぱく⑤
2 日		23 日	◆村学対実践報告会(大宜味小学校)
3 月		24 月	振替休日(幼・小・中)
4 火	◆村成人式 ◆官公庁仕事始め	25 火	◆体験の翼事前研修会
5 水	◆区長会	26 水	
6 木	◆幼稚園・小学校3学期始業式 ◆大宜味中授業開始	27 木	
7 金	◆村民新春の集い ◆塩屋保育所マラソン・駅伝大会	28 金	◆村PTA運営委員会
8 土		29 土	◆塩屋保育所ヤマシッ子生活発表会 ◆沖縄一周市郡対抗駅伝(～30日)
9 日	◆村駅伝大会	30 日	
10 月	成人の日	31 月	
11 火		2月	February
12 水	◆喜如嘉保育所マラソン・駅伝大会	1 火	◆区長会 ◆体験の翼事前研修会
13 木		2 水	
14 金		3 木	
15 土	◆大宜味村産業まつり(～16日)	4 金	
16 日	家庭の日	5 土	◆喜如嘉保育所ぶながや生活発表会
17 月		6 日	◆4小学校学芸会
18 火		7 月	4小学校振替休日
19 水		8 火	◆体験の翼事前研修会
20 木	◆授業参観・くがにータイム発表会(大宜味中学校)	9 水	
21 金		10 木	

※このカレンダーは予定ですので、都合により変更されることがあります。各業務については電話等で確認してください。

村内あれこれ



安心して暮らせる地域のために

社会福祉の増進を担う民生委員・児童委員の厚生労働大臣委嘱状交付式が12月9日(木)、村長室で行われ、新たに任命された委員や関係者らが出席しました。交付式では、島袋村長から委員一人ひとりに交付状が手渡されました。今回、始めて民生委員に任命された外園未美さんは「委嘱状を受け取り、身が締まる思いです。未熟な面もあるかと思いますが、いろいろご指導を頂きながら、地域のために頑張っていきたいです」とこれからの意気込みを話してくれました。



植樹を通して環境づくりを体感

植樹・育樹の体験を通して、子ども達に自然保護の大切さを知ってもらい、環境教育の推進を図っていくと、2010「森に学ぼう」プロジェクトin大宜味村(主催:大宜味村、(株)沖縄ココ・コーポレーション)が11月23日(火)、大保ダムで行われ、村内外から親子連れなど約350人が参加しました。植樹では、NPO法人つばきの会のアドバイスを受けながら、ツバキの種900粒と苗150本、その他大保ダム建設以前に自生していたトベラやシャリンバイなどの苗150本を植え、自然への関心を高めるとともに、環境づくりを体感しました。



中学生人権作文発表会

人権感覚を身につけることを目的として実施している「人権作文コンテスト」に応募のあった作品(名護支庁管内)から選抜した作品を、作者自身が発表することにより、同じ目線を持った中学生が人権問題をより身近な事として考え、理解を深めてもらうと12月3日(金)、大宜味中学校で中学生人権作文発表会が開催されました。北部にある中学校から代表6名が発表を行い、大宜味中学校からは佐久川美希子さん(3年)が「身近な人を大切に」をテーマに発表し、人権の大切さを訴えました。



前田悠嗣さん ネパールに派遣

JICAボランティアとして、ネパールに派遣される前田悠嗣さん(喜如嘉)が12月14日(火)、出発に先立ち、JICA職員らとともに、島袋義久村長を表敬訪問しました。今月から2年間派遣される予定で、現地では青少年活動という職種につき、管轄地区内で初等教育の質を上げる役割を担います。前田さんは「海外の子ども達のために自分の出来ることを精一杯頑張りたい。そして、その経験を活かして大宜味村の子ども達の力になりたい」と抱負を語ってくれました。

キラリ おおぎみ

2010年 秋の叙勲 瑞宝双光章

叙勲受章者 新里 勇さん(更生保護功勞)



新里 勇さん ヒデ子さん ご夫妻

「どんなことがあっても見捨てない」。現在も保護司として活動を続ける新里勇さんが子どもたちに言い続けた言葉。新里さんは、県立石嶺児童園でボイラー技士として働きながら、保護司と青少年指導員のボランティアを始めた。児童園の子ども達と接していると、人の愛や温もりを求め、「認めてくれている人」「頼りになる人」の存在が不可欠だと感じるようになった。小さい頃に両親を病気で亡くし、姉夫婦や親類に育てられた新里さんには、親元を離れて暮らす児童園の子どもたちの気持ちが、痛いほどよく伝わった。福祉活動に携わる原点は幼少期に遡る。寂しい思いをしていた時に支えてもらい、心から信頼できる友人と出会ったことが、新里さんを福祉への道へ進ませた。「この人は自分を裏切らない。自分の支えになってくれる」。子ども達に対する思いは、その時の親友から受け取ったものだ。新里さんは、現在青少年育成アドバイザーや社会福祉主事など20を超える資格を所持している。全て子ども達のために役立てたい、そして子ども達にとって「安心して頼れる」存在になりたいからだ。妻のヒデ子さんは「この人だから出来ること。お父さんは世界一」と胸を張る。勇さんは「妻の支えがなかったら、続けることが出来なかった」と感謝を込めた。数々の苦勞を乗り越え、夫婦二人三脚でもらった今回の章は、夫婦の絆の証でもある。

大宜味一心会親睦大運動会～郷友の心は一つ～



「郷友の心は一つ」を合言葉に、第44回大宜味一心会親睦大運動会が11月21日(日)、奥武山競技場サブグラウンドで開催され、大宜味村出身者や関係者ら、約1,000人が参加し、親睦を深めました。運動会では、島袋義久村長や村婦人会ら、多くの人が郷友の心を通わせて踊った「大宜味音頭」や、都会の喧噪をかき消すような村青年会の力強いエイサー演舞、器用にゴールを転がし駆け抜けたゴールマラーセと全16種目の競技が行われ、今年は大兼久が優勝に輝きました。大宜味一心会の平良昭男会長は、今回の運動会を振り返り「多くの方が協力してくれたおかげで、成功裏に終えることが出来た。郷友会の会員だけでなく、村在住の村民もたくさん駆けつけてくれ、村あげての運動会に発展してきていることは大変うれしい」と感謝の言葉を述べていました。